

『俳句甲子園』における審査基準（2017年度版）

『俳句甲子園』は教育の場として開催運営されています。
審査員は、以下の方法および評価基準に従って審査して下さい。

● 「俳句甲子園」における評価

- ① 審査員は、各自が採点した 「作品点」 「鑑賞点」 の合計によって、紅白どちらかのチームの旗を上げて下さい。
- ② 合計点が同点の時は、「作品点」の高いチームに旗を上げて下さい。

● 作品点

- ① 作品点は10点満点の絶対評価です。以下の評価基準にしたがって採点して下さい

※評価基準は、『俳句甲子園』に毎年寄せられる投句を蓄積分析し、項目立てたものです。
俳句甲子園の進化によって、評価基準も進歩していくものと考えます。

- 1点… 兼題が全く詠み込まれていない。
- 2点… 兼題は詠み込まれているが、基礎的知識（五七五の間を空ける分がち書き、兼題以外に季語が二つ以上入る極端な季重なり等）が著しく欠けている。
- 3点… 兼題は詠み込まれているが、俳句の基礎的知識に不足が見られる。
- 4点… 兼題を説明しただけに終わっている。
- 5点… 強い類想感がある。あるいは、句意が判然としない。
- 6点… 類想が懸念されたり、句意が読み取り難いくらいはあるが、ひとまず句として成立している。
- 7点… 作品としての強い魅力があるわけではないが、技術的には可も不可もなく成立している。あるいは、荒削りで難はあるが、発想にみるべき点がある。
- 8点… 芸術的にも技術的にも、積極的評価ができる。
- 9点… 8点の要素に加えて、強い芸術的魅力がある。
- 10点… 歴代の最優秀句に匹敵する秀句である。

- ② 高校生たちは審査員の点数を、次なる学びの評価と受け止めます。大会を通じて、審査員それぞれが一貫した絶対評価を実行して下さい。
- ③ 『俳句甲子園』はあくまでも俳句の大会ですので、作品点が高い方が勝つという考え方が基本です。作品点が同点の場合に、「鑑賞点」が勝敗を左右することになります。
- ④ 高校生たちの質疑応答や鑑賞を聞いて、「作品点」を下げるのは避けて下さい。あくまでも提示された作品についての絶対評価を入れて下さい。自チームの句についての鑑賞の不備は、そのチームの「鑑賞点」に反映させて下さい。
- ⑤ 高校生の作品には、文語表現、口語表現、あるいは自由律を意識した作品もあります。審査員の作風を押し付けることなく、様々な表現への挑戦を肯定的に評価して下さい。

●鑑賞点

① 鑑賞点は、鋭い質問、的確な反論、豊かな鑑賞等についての評価です。

② どちらか優れていた方のチームにだけ、「1〜2点」を加点する**相対評価**です。加点の評価は、以下の基準に従って下さい。

- 1点： 自チームの句に対する鑑賞がよりの確にできた。相手チームの句の特徴や改善点をよりの確に指摘できた。
- 2点： 1点の要素に加え、相手チームがほとんど発言できない、あるいは有効な発言がほとんどなかった。

③ 両チーム五人の総力を合わせての評価です。発言者が何人いたかは、評価の対象ではありません。質疑応答の内容そのものを吟味して下さい。

●参考資料

「作品点」 10点の目安となる歴代の最優秀句は、以下の通りです。

- 第19回 豚が鳴く卒業の日の砂利踏めば 池内 嵩人 (愛媛県立松山中央高等学校)
- 第18回 号砲や飛び出す一塊の日焼 兵頭 輝 (愛媛県立宇和島東高等学校)
- 第17回 湧き水は生きてゐる水桃洗ふ 大橋 佳歩 (愛知県立幸田高等学校)
- 第16回 夕焼や千年後には鳥の国 青本 柚紀 (広島県立広島高等学校)
- 第15回 月眩しプールの底に触れてきて 佐藤 雄志 (開成高等学校)
- 第14回 未来もう来ているのかも蝸牛 菅 千華子 (神奈川県立厚木東高等学校)
- 第13回 カルデラに湖残されし晩夏かな 青木 智 (開成高等学校)
- 第12回 琉球を抱きしめにゆく夏休み 中川 優香 (熊本県立菊池高等学校)
- 第11回 それぞれに火花を待つてゐる呼吸 村越 敦 (開成高等学校)
- 第10回 山頂に流星触れたのだろうか 清家 由香里 (愛知県立幸田高等学校)
- 第9回 宛先はゑのころぐさが知つてをる 本多 秀光 (愛媛県立宇和島東高等学校)
- 第8回 土星より薄に届く着信音 堀部 葵 (京都市立紫野高等学校)
- 第7回 かなかなや平安京が足の下 高島 春佳 (京都市立紫野高等学校)
- 第6回 小鳥来る三億年の地層かな 山口 優夢 (開成高等学校)
- 第5回 夕立の一粒源氏物語 佐藤 文香 (愛媛県立松山東高等学校)
- 第4回 カンバスの余白八月十五日 神野 紗希 (愛媛県立松山東高等学校)
- 第3回 裁判所金魚一匹しかをらず 菅波 祐太 (愛光高等学校)
- 第2回 朝顔の種や地下鉄乗り換えぬ 森川 大和 (愛光高等学校)
- 第1回 秋立ちちて加藤登紀子が愛歌う 白石 ちひろ (愛媛県立松山中央高等学校)